

〔日本プロ野球選手会 オフ期最大のファンコミュニケーションイベント〕

「ベースボール・クリスマス 2010 IN 駒沢」12月4日(土)開催

選手会長 新井(阪神)はじめ、坂本(巨人)、渡辺俊(ロッテ)ら現役約 30 名と OB、審判が集結

〔取材申込受付のご案内〕

日本プロ野球選手会(会長:新井貴浩 阪神)は、来る 12 月 4 日(土)、東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場においてオフシーズン最大のファンコミュニケーションイベント、「ベースボール・クリスマス 2010 IN 駒沢」を、現役選手約 30 名や OB・審判員などの野球人を中心に実施します。選手会主催の東京での大型イベントは、5 年ぶりとなります。

取材ご希望の場合は、「FAX 返信用紙」に必要事項をご記入の上、ご返信ください。

選手会は改革元年の 05 年より、12 球団選手が集結する選手会ならではのファンイベントを実施。07 年中越沖地震被災地の新潟県柏崎市での開催を機に、野球を愛する地域の方々と共に創りあげるベースボールフェスタをコンセプトに「ベースボール・クリスマス」と改称、開催地域周辺はもとより、日本全国から来場者を集める一大ファンコミュニケーションイベントを展開してきました。08 年は横浜で、そして昨年は学校法人立命館と「選学共同」をテーマに包括協定を結んだことを踏まえて同大学のびわこ・くさつキャンパスにて開催、多くの人たちと「野球のある国に生まれた幸せ」を分かち合うことをテーマに、プロ野球選手を主役に、さまざまなアトラクションやトークイベントを行いました。

* ベースボール・クリスマス IN 中越(新潟県柏崎・刈羽村)07 年 12 月 23 日・24 日

* ベースボール・クリスマス IN 横浜(横浜みなとみらい地区)08 年 12 月 21 日

* ベースボール・クリスマス IN びわこ・くさつ(滋賀県近畿地区)09 年 12 月 6 日

●ペナントレースを彩った選手たちが集結、キャッチボールやクイズイベントなどを通じてファンと交流！

参加するのは、日本プロ野球選手会会長の新井貴浩をリーダーに、坂本(巨人)や石川(ヤクルト)、渡辺、大松(ロッテ)、摂津(ソフトバンク)、小谷野(北海道日本ハム)など、今年のペナントレースを盛り上げた中心選手から、中田亮(中日)、筒香(横浜)ら未来の球界を担う若手まで 30 人の現役選手。選手会が開発した安全なキャッチボール専用球「ゆうボール」を使って直々にキャッチボール指導を行ったり、ファンと共に楽しむ野球クイズに参加したりと、ファンとの交流を深めます。

また例年通り、セパ現役の審判による生声ジャッジや、キャッチボール指導に定評のある前北海道日本ハム二軍監督、水上善雄氏ら選手会の認定指導員も参加、オフシーズン最大のベースボールフェスタを盛り上げます。

●今年は東京！2010 年 12 月、東京のど真ん中に、一日限定のベースボールパークがオープンします！

会場となるのは、1964 年東京オリンピックが開催され、スポーツの聖地と言われる駒沢オリンピック公園総合運動場。運動をするために整えられた広大な敷地の中にある軟式野球場と、東京オリンピックで“東洋の魔女”が活躍した体育館として記念されている屋内球技場にて、来場者の皆さまに野球の楽しさを存分に味わっていただける企画を予定しています。同時に、選手会が推進する「キャッチボールプロジェクト」の第 2 ステージのキックオフイベントと位置づけ、“東京でもっとキャッチボールができる場所を！”の都民運動をここからスタートさせ行政への働きかけや連携を通じてキャッチボールができる環境づくりの大切さを伝えたり、日本全国にフランチャイズが広がるプロ野球だからこそ考えられるスポーツツーリズムについて観光庁と連携を進めていききっかけとなるイベントにしたりと、野球がもつ社会へのメッセージ力の強さを活かした企画も実施する予定です。

●再来年度より全国の公立中学校にて「ベースボール型スポーツ」必修スタート！も強くアピールするイベントに

また平成 20 年 3 月、文部科学省にて、『(平成 24 年度より)第 1 学年及び第 2 学年においてはベースボール型スポーツ(=ソフトボール)をすべての生徒に履修させること。』と記された中学校学習指導要領が告示され、来年度より中学 1、2 年においてベースボール型スポーツ(=ソフトボール)の必修、および小学校 5、6 年においても主要科目として位置づけられることが決定されました。全国 10,915 校ある公立中学校において、全生徒がベースボール型スポーツを履修するという事実は、野球界にとって大きなニュースだと認識しています。当会では、この機会にこそ、野球界が一体となって、また、(財)日本ソフ

トボール協会とも協力して、日本の野球(ベースボール型スポーツ)を盛り上げていくべきだと考えていることから、本イベントにおいても、ベースボール型(=ソフトボール)必修化を(財)日本ソフトボール協会の協力も得て強くアピールする予定です。当日は日本女子ソフトボール・ナショナルチーム代表選手3名がゲストとして参加、イベントを盛り上げてくれることになりました。来年度以降、学校体育ソフトボールが全国各地で積極的に展開されるように、野球界とソフトボール界が共に協力して、一人ひとりの生徒が『より楽しく、より好きになれるような』ベースボール型授業の実現を目指して活動していきたいと考えています。

(※イベント当日は、新「学習指導要領」においてベースボール型スポーツ(=ソフトボール)が必修化となった経緯や普及方策等についてなど、ご要望に応じて関係役員がご説明させていただきますので、プレス担当にお知らせください)

●チャレンジ25キャンペーン(環境省)呼び掛けや、観光庁長官が来場してのスポーツツーリズム推進デモ

ベースボール・クリスマスでは、これまで選手をメッセンジャーに食や環境、地域活性など、さまざまなテーマを題材にした呼び掛けを行ってきましたが、今回は一昨年の横浜に続き環境省が、“ストップ!地球温暖化”を軸とした「チャレンジ25キャンペーン」と連携、会場での来場者への「チャレンジ25宣言」の参加を呼びかけます。また観光庁とは、選手会が推進するキャッチボールプロジェクトに関連したイベント実施や各地域の出身選手によるPRを通じた地域活性化、観光需要促進などでも今後連携していくことを踏まえ、溝畑観光庁長官が会場に来場、選手とのデモンストレーションも行う予定です。

<予定プログラムの一例> *変更の場合あり *雨天時は屋内球技場にて内容一部変更にて開催予定

■屋外:軟式野球場

- 開閉会式 ●溝畑宏観光庁長官による始球式●参加選手全員によるキャッチボール指導
- アナタの野球ファン度をチェック!選手と一緒に○×クイズに挑戦!(選手は出題者・回答者として参加、野球知識やペナントの裏話に加え、選手トリビアなどを取り混ぜた○×クイズを出題/最後まで残った人には豪華プレゼント予定)
- 選手に聞いてみよう!質問コーナー ●環境省チャレンジ25宣言 ●NTT東日本プレゼンツインターネットラジオ
- 選手が選ぶベストナイン表彰 ほか

■屋内:屋内球技場

- 小学生以下対象の“KONAMI野球であそぼう”コーナー(先着200名予定/当日整理券配布)

<参加内定選手(2010年11月26日現在)> *変更の場合あり

中田亮二・松井佑介(中日ドラゴンズ)/新井貴浩・小宮山慎二(阪神タイガース)/
山口鉄也・野間口貴彦・坂本勇人(読売ジャイアンツ)/石川雅規・押本健彦・増淵竜義(東京ヤクルトスワローズ)/
梅津智弘・木村昇吾(広島東洋カープ)/石川雄洋・下園辰哉・筒香嘉智(横浜ベイスターズ)

摂津 正・森福允彦(福岡ソフトバンクホークス)/松下建太・石井義人・後藤武敏(埼玉西武ライオンズ)/
渡辺俊介・大嶺祐太・萩野貴司・大松尚逸(千葉ロッテマリーンズ)/小谷野栄一・増井浩俊(北海道日本ハムファイターズ)/
森山 周・比嘉幹貴(オリックス・バファローズ)/片山博視・青山浩二(東北楽天ゴールデンイーグルス)
他 OB、セパ現役審判員予定

※参考①:日本プロ野球選手会とは

プロ野球12球団に所属の日本人選手全てが会員の団体。寿命も短く社会保障も不十分な選手の地位向上を目的として設立。2000年にホームページを立ち上げたことを契機に「選手の視点からできる球界活性化」を合言葉に独自のファンコミュニケーションを開始。チャリティオークションや、シンポジウム実施、そして高校球界との交流による「夢の向こうに」プロジェクトは、プロアマ雪解けのきっかけとなる。社団法人日本プロ野球選手会での野球振興活動では大都市圏におけるキャッチボール環境向上のためキャッチボール専用球「ゆうボール」の開発やイベントなどを実施。また2005年以降は、球界改革の一翼を担う立場として、構造改革協議会へも参加している。

※参考②:「キャッチボールプロジェクト」とは

キャッチボールプロジェクトは、特に大都市において、場所の減少が機会の減少に直結し、子供とキャッチボールしない親が出はじめていることを憂慮した現役選手の声から06年からスタートしたプロジェクト。現役選手たちの監修で、安全性が高く、素手でもグローブでも楽しめるキャッチボール専用球「ゆうボール」を開発。また“キャッチボールしよう”を合言葉に、現役選手やOBを講師とした200人から2万人規模に至るまでの幅広いイベントの実施、DVDや小冊子等の制作・配布を通じた普及活動、行政への働きかけなどを行い、2010年はこれまで、5月(東京都調布市)、7月(新潟市)、8月(東京都港区)、9月(北海道函館市)、11月(山形市)で実施。

【ベースボール・クリスマス 2010 IN 駒沢 実施概要】* 申請中のものを含む

主催: 日本プロ野球選手会

共催: 財団法人東京都スポーツ文化事業団／ベースボールクリスマス 2010 実行委員会

後援: 観光庁、東京都、世田谷区、(財)日本ソフトボール協会

特別協賛: NTT 東日本

特別協力: チャレンジ25キャンペーン(環境省)

協力: 駒澤大学、株式会社コナミデジタルエンタテインメント、JTB 首都圏

日時 2010年12月4日(土)10時～16時(予定)

会場 駒沢オリンピック公園総合運動場(東京都世田谷区)

参加選手 セパ12球団より現役選手30名前後、OB、セパ現役審判員予定

参加資格 入場無料 ※キャッチボール参加の場合は、キャッチボール専用球“ゆうボール”持参または会場購入

実施目的 ①選手会による現役プロ野球選手を中心としたファンコミュニケーションの実施

②体を動かすことやキャッチボールができる環境づくりなどの大切さを発信

③日本全国にフランチャイズが広がるプロ野球だからこそ考えられるスポーツツーリズムについて観光庁と連携

参加選手やイベントの最新情報は、選手会ホームページにて随時アップ <http://jpbpa.net>

＜本リリース・イベントに関するお問い合わせ＞

日本プロ野球選手会 企画広報 キャッチボールプロジェクト PR 事務局 星野

TEL: 03-3358-9766 mobile: 090-6155-9185 E-mail hoshino@jpbpa.net

■ FAX 返信用紙 ■

12月4日(土) 10:00~16:00 ベースボール・クリスマス 2010 IN 駒沢
駒沢オリンピック公園総合運動場 (世田谷区駒沢公園 1-1) / プレス受付: 屋内球技場 1F 入口
<http://www.tef.or.jp/kopgp/access/access.html>

8:30 より屋内球技場 1F 入口にて受付開始 / 9:00 よりオリエンを行います

- ※ 音声ラインのご用意はございませんので、予めご了承ください。
- ※ 本イベント用の駐車場のご用意はございません。公園の一般駐車場は朝早くから満車になる可能性が高いので、公共交通機関を利用されることお勧めします。
- ※ 事前オリエンでは、当日の進行や選手の動きの説明などを行います。場所取り等はオリエン後にお願いいたします。
- ※ 選手スケジュールの都合により開始時間等、若干の変更が生じる場合もございます。

締め切り : 平成 22 年 12 月 3 日(金) 17:00 まで

FAX : 03-3358-9767

御社名:

媒体名:

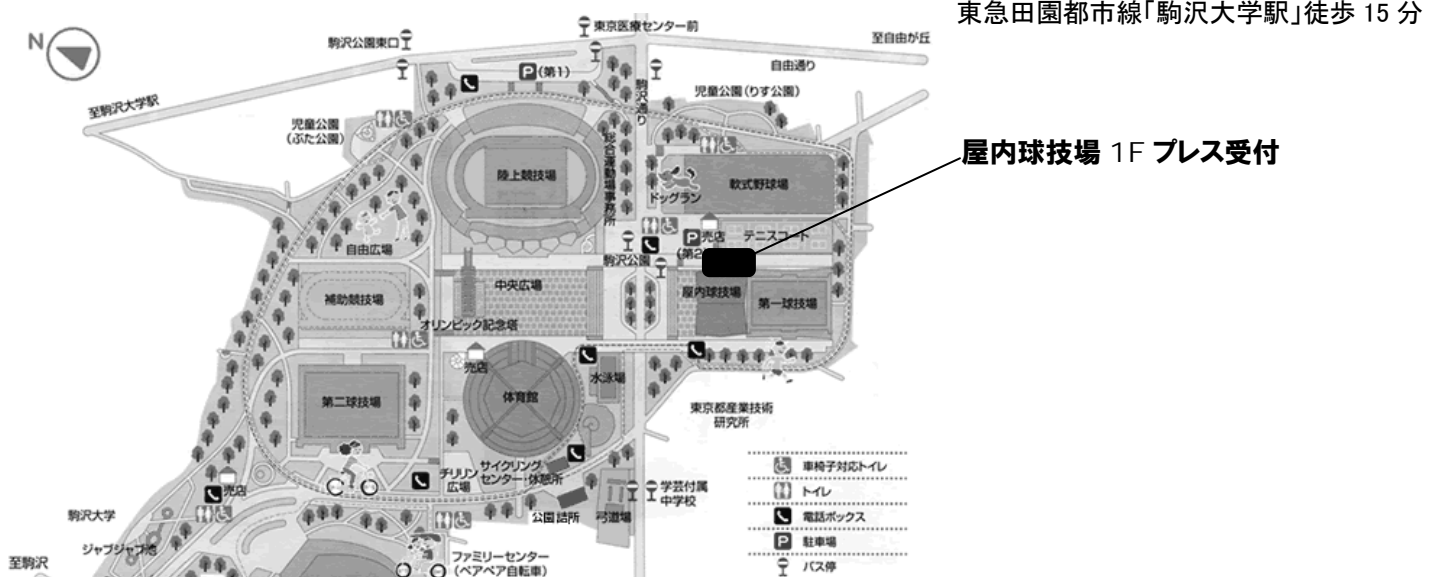
代表者名: **人数 計 名様**

撮 影: **スチール / ムービー * 該当に○印**

連絡先電話番号: **FAX 番号:**

e-MAIL:

備考:



<本リリース・イベントに関するお問い合わせ>

日本プロ野球選手会 企画広報 キャッチボールプロジェクト PR 事務局 星野
TEL:03-3358-9766 mobile:090-6155-9185 E-mail hoshino@jpbpa.net